



株主通信 | 第84期中間  
2025.1.1 - 2025.6.30



社長メッセージ

## 株主の皆さまへ

株主の皆さまにおかれましては、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当中間連結会計期間（2025年1月1日から2025年6月30日まで）における日本経済は、物価上昇を要因とした個人消費の停滞等、回復力には弱さが見られ、消費者マインドの下振れや米国の政策動向による影響等、景気を下押しするリスクには引き続き留意が必要です。

当社グループが主に事業展開しているアジア・米国経済においては、トランプ政権による関税問題も影響し、先行きは依然として不透明な状況です。中国では、不動産市場の停滞や物価下落の継続等により、米国では、消費センチメントの減退により、両国ともに景気は減速傾向にあります。

このような市場環境の中、当中間連結会計期間における当社グループの売上は、中華圏において減収となりましたが、日本における『コスメデコルテ』ならびに(株)アルビオンが大きく伸長し、売上高は前年同期比0.9%増の1,605億円（為替の影響を除くと前年同期比1.5%増）、連結売上高に占める海外売上高の割合は34.7%となりました。

営業利益は、(株)アルビオンと中国本土で増益となったものの、中国免税や『タルト』の減益を相殺するには至らず、113億円（前年同期比17.7%減）となりました。経常利益は為替差損の増加により96億円（同49.1%減）、親会社株主に帰属する中間純利益は固定資産の売却益によって70億円（同38.9%減）となりました。



当社グループでは、2024年11月に新たな中長期ビジョン「Vision for Lifelong Beauty Partner—Milestone2030」を発表しました。現在は、フェーズ1「構造改革の完遂と基盤再構築」に位置付けており、日本事業の収益性向上に向けた事業構造の見直しとアジア事業の売上拡大に向けた投資を実行しています。

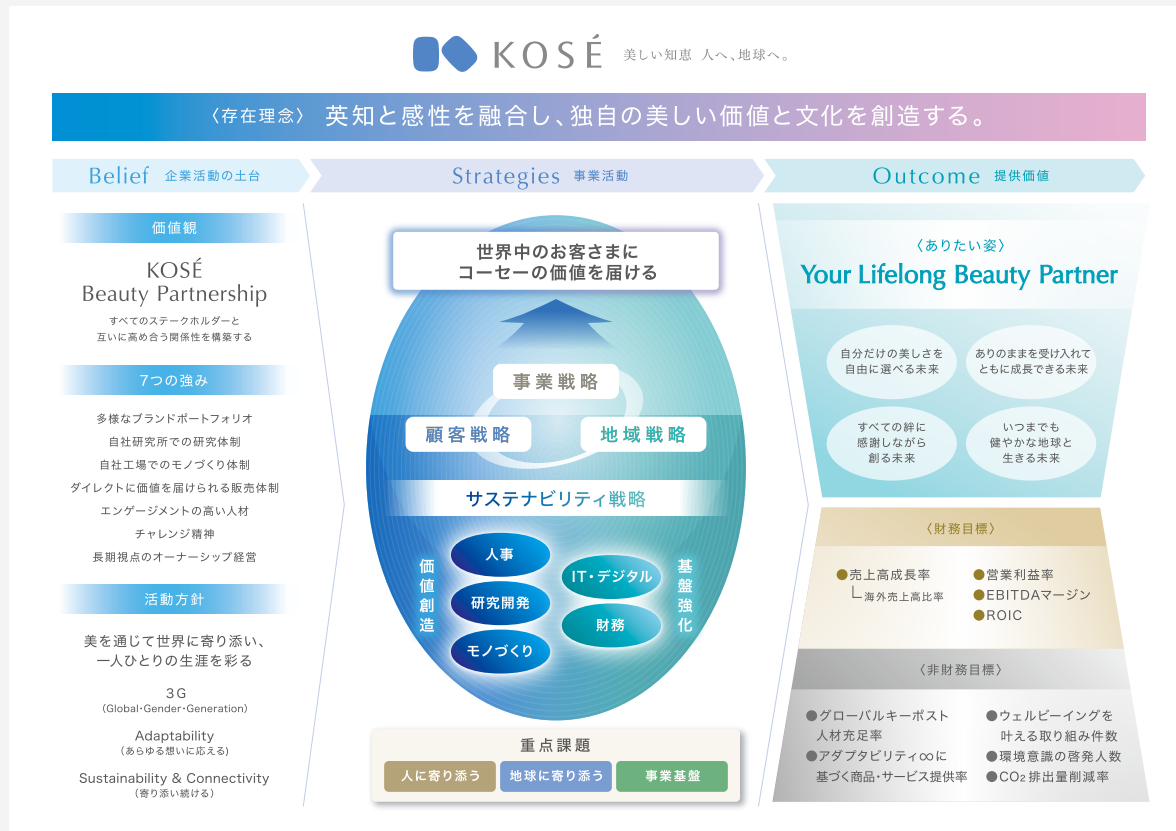
創業80周年となる2026年度には純粋持株会社体制へ移行し、新たなパートナーが当社グループに参画しやすい体制づくりを推進します。さらに、グループシナジーの極大化、意思決定の迅速化、経営資源の戦略的且つ効率的な配分を図っていきます。

引き続き、一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2025年9月 代表取締役社長 小林一俊

# 中長期ビジョン

「Vision for Lifelong Beauty Partner-Milestone2030」を発表しました



中長期ビジョン概念図

## 私たちが「Your Lifelong Beauty Partner」に込めた想い

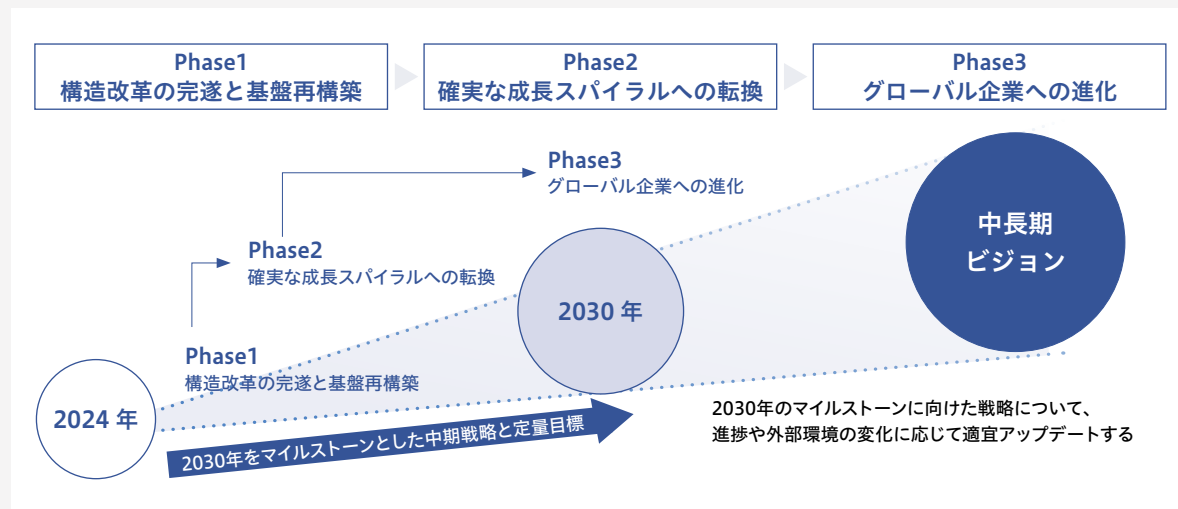
「多彩な美の選択肢を提供することで、世界中の一人ひとりが生涯にわたり自分だけの輝きを見つけられるよう、長い時間軸で寄り添い、美の力で明るく彩り続けたい」という、創業以来コーセーグループが大切にしている強い想

いを〈ありたい姿〉に込めました。お客さまに限らず、ビジネスパートナー、働く仲間、世界中のあらゆる人々や未来を生きる次世代、そして地球上の美しい自然とより長く、より深く、より強い絆を築き、企業価値の向上を目指します。

## ビジョン達成に向けた3つのフェーズ

今回の中長期ビジョンでは、おおよそ10年後を見据えたコーセーグループのありたい姿を示すと同時に、そのロードマップとして、2030年をマイルストーンとする定量目標とそれを実現するための中期戦略を策定しました。2030

年に向けて、「構造改革の完遂と基盤再構築(Phase1)」および「確実な成長スパイラルへの転換(Phase2)」を経て、「グローバル企業への進化(Phase3)」のフェーズへ到達するとともに、中長期ビジョンの達成を目指します。



2030年のマイルストーンに向けた戦略について、進捗や外部環境の変化に応じて適宜アップデートする

### Phase1における最優先事項

#### 日本の稼ぐ力の再構築

あらゆるレイヤーで費用構造を見直し  
収益性を向上させる

- 成長投資による持続的な売上成長の実現
- SKUあたりの効率性の最大化
- EC売上比率の向上
- デジタルマーケティングによる販売費効率化
- 研究開発強化による付加価値の高いプロダクト開発

▶ 日本での盤石な事業基盤の構築と  
圧倒的な存在感を確立する

#### 中国本土の黒字化・収益性改善

持続的な売上・利益を創出できる  
事業構造へシフトする

- 在庫処分、不採算店舗の整理(2024年)
- 展開ブランドごとの販売チャネル最適化
- ハイプレステージ商品ライン強化によるブランド価値向上
- マーケティングにおける成分訴求の強化
- コスメタリー商品の展開拡大の検討

▶ 2025年度の黒字化達成と  
持続的成長への転換を図る

## 中期戦略のコアとなる考え方

中期戦略のコアとなる考え方は、日本での盤石な事業基盤の構築と圧倒的な存在感の確立により、確実な成長リソースを生み出し、持続的な成長に向けた投資につなげる方針に基づいています。グローバルでの事業成長には、積極的に外部との連携や外部のアセットを活用する「脱・

自前」による地域への最適化を推進する必要があります。地域への最適化には、「現地起点のマーケティング・モノづくりへの転換」と「地域に根づいたブランドの新たな獲得」の2つのアプローチがあり、これらを組み合わせることにより、グローバルでの事業成長を実現します。

## 中期戦略における重点取り組み

2030年のマイルストーンに向けた中期戦略のゴールは、持続的な企業成長に向けた構造改革と基盤再構築を進め、確実な成長スパイラルに転換することです。中期戦略

は成長戦略の位置づけとなる「事業戦略」「地域戦略」「顧客戦略」とそれを支える「機能戦略」「グループ戦略」で構成されています。

事業戦略	<ul style="list-style-type: none"> <li>ハイプレステージを主軸とした事業構造を利益創出の源泉としつつ、コスメタリー事業を注力領域とする</li> </ul>
地域戦略	<ul style="list-style-type: none"> <li>中華圏市場への高い依存から、次なる成長領域としてグローバルサウス市場へ戦略をシフトする</li> <li>ハイプレステージ/コスメタリー、グローバルサウス/米国/欧州を重点領域とした、インオーガニックな成長投資を強化する</li> <li>日本を起点に、顧客ID (KOSÉ ID) を軸としたパーソナルな関係性を構築し、デジタル活用による顧客体験の変革を行う</li> </ul>
顧客戦略	<ul style="list-style-type: none"> <li>これからの成長機会の位置づけとして、ジェンダー・ジェネレーション軸での顧客開発を強化する</li> </ul>
機能戦略	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域最適化を実現するための事業基盤の構築と、地域への権限移譲を進める(人事/モノづくり)</li> <li>稼ぐ力の再構築(収益性、効率性改善)のために筋肉質な事業体質に転換する(財務)</li> <li>2020年に策定した「コーセー サステナビリティ プラン」を中長期ビジョンに集約し、「価値創造」「基盤強化」を加速する(サステナビリティ)</li> </ul>
グループ戦略	<ul style="list-style-type: none"> <li>グループシナジーの極大化、意思決定の迅速化、経営資源の戦略的・効率的な配分を可能とする経営体制を確立する</li> <li>グローバルでの多様なビジネスモデルの展開と、ウェルビーイング領域への提供価値拡大を加速する</li> </ul>

## 定量目標

中長期ビジョンの実現に向けて、「財務目標」と「非財務目標」を設定しました。財務目標では、稼ぐ力の再構築の達成度を測る5つの指標を設定しました。非財務目標では、持続的な成長を支える人的資本の強化に関する目

標を新たに設定するとともに、社会的・環境的課題への対応として「コーセー サステナビリティ プラン」の目標を引き継ぎ、企業価値のさらなる向上を目指します。

		テーマ	指標	2024年	2030年 マイルストーン
財務目標	売上	持続的な売上成長	売上高成長率	7.4%	CAGR 5%以上
		グローバルでの展開強化	海外売上高比率	34.5%	50%以上
	収益性	持続的な利益創出	営業利益率	5.4%	12%以上
			EBITDA マージン	8.8%	18%以上
効率性	効率的かつ効果的な成長投資	ROIC <sup>※1</sup>	2.6%	10%以上	
非財務目標	人的資本	グローバルな成長を支える人的基盤	グローバルキーポスト人材充足率 <sup>※2</sup>	1.39倍	2.5倍以上
	社会課題	多彩な美しさの尊重	アダプタビリティ <sup>∞</sup> に基づく商品/サービス提供率 <sup>※3</sup>	86.4%	100%
		心まで健やかな毎日を支える	ウェルビーイングを叶える取り組み件数	198件	500件以上 <sup>※5</sup>
	環境課題	環境意識の向上	環境意識の啓発人数	741万人	1,000万人以上
		環境負荷低減の推進	CO <sub>2</sub> 排出量削減率	Scope 1・2	▲45.1% <sup>※4</sup>
	Scope 3	▲19.3% <sup>※4</sup>		▲30% <sup>※6</sup>	

※1：新リース会計基準適用前、ROIC= 税引後営業利益÷投下資本、投下資本=有利子負債+純資産

※2：グローバル人材+グローバルキーポストで算出

※3：コーセー独自の8つの取り組みテーマ「アダプタビリティ<sup>∞</sup>」から、各ブランドが毎年注力する項目を決定し、その項目数に対して達成したサービス・商品数をカウントし総合達成率を算出

※4：第三者検証後2025年9月更新予定 ※5：2020年からの累積 ※6：2018年対比での削減率

## 2025年12月期 中間期のご報告

2025年6月30日現在

## 連結財務ハイライト

## 連結経営成績

( )は前年同期比

売上高	<b>1,605億円</b> (0.9%増)
営業利益	<b>113億円</b> (17.7%減)
経常利益	<b>96億円</b> (49.1%減)
親会社株主に帰属する中間純利益	<b>70億円</b> (38.9%減)
1株当たり中間純利益	<b>124円36銭</b> (79円12銭減)

## 連結財政状態

( )は前期末比

総資産	<b>3,683億円</b> (184億円減)
自己資本	<b>2,701億円</b> (21億円減)
自己資本比率	<b>73.3%</b> (2.9ポイント増)
1株当たり純資産	<b>4,733円10銭</b> (38円59銭減)

## 業績推移

 通期予想  通期 億円未満は切り捨て

## 売上高 (億円)

2025/12	<b>3,360 (予想)</b>
2024/12	<b>3,227</b>
2023/12	<b>3,004</b>

## 営業利益 (億円)

2025/12	<b>200 (予想)</b>
2024/12	<b>173</b>
2023/12	<b>159</b>

親会社株主に帰属する  
当期純利益 (億円)

2025/12	<b>138 (予想)</b>
2024/12	<b>75</b>
2023/12	<b>116</b>

## 1株当たりの配当金 (円)

2025/12	<b>70</b>   <b>70 (予想)</b>
2024/12	<b>70</b>   <b>70</b>
2023/12	<b>70</b>   <b>70</b>

## 事業別概況

## 化粧品事業

( )は前年同期比

売上高	<b>1,279億円</b> (0.9%増)
営業利益	<b>97億円</b> (20.0%減)

『コスメデコルテ』や、メイクアップブランドの『ジルスチュアート』等が減収となった一方で、(株)アルピオンの主要ブランドの増収や、新規連結対象となった『バンピュリ』の寄与等により、事業全体では増収となりました。営業利益は、(株)アルピオンと中国本土で増益となったものの、中国免税や『タルト』の減益を相殺するには至らず、減益となりました。

## コスメタリー事業

( )は前年同期比

売上高	<b>312億円</b> (横ばい)
営業利益	<b>37億円</b> (3.4%減)

コーセーコスメポート(株)の主力ブランドおよび(株)コーセーのセルフメイクブランドの『ヴィセ』、『ファッション』が苦戦した一方、『メイク キープ』が好調に推移し、売上高は前年同期並となりました。営業利益は、収益性は前年同期比でわずかに低下しましたが、引き続き高い水準を維持しています。

## その他の事業

( )は前年同期比

売上高	<b>13億円</b> (17.4%増)
営業利益	<b>7億円</b> (26.0%増)

主にアメニティ事業での増収に加えて、原価率の低下が寄与したことで、売上高、営業利益ともに増加しました。

※事業ごとの営業利益は、事業間取引消去及び全社費用の調整前のため、その合計は連結営業利益と異なります。

詳細はこちらの **決算短信・決算説明資料** もご覧ください

## 中間期の主な取り組み

中間期に話題を集めた商品、プロモーションをご紹介します。

### High Prestige Brands

## 世界初、量子コンピュータで 毛穴ケアの最適解へ

[DECORTÉ | AQ 毛穴美容液オイル]

高付加価値ブランド『コスメデコルテ』のシグネチャーライン「AQ」より、クレンジング美容液「毛穴美容液オイル」が新登場。量子コンピュータを用いて1,000億通り以上の化粧品処方を計算するという世界初<sup>※</sup>の試みに、ブランドが長年培った皮膚科学の

知見を掛け合わせ、毛穴ケアに最適なアプローチを導き出しました。毛穴に蓄積した角栓や皮脂を溶かし出す高機能処方<sup>※</sup>で、ざらつきのないなめらかな明るい肌へと整えます。

※ 溶解度パラメータを用いた成分の選定および配合量の組み合わせの計算について



肌のキメ細やかな輝きをラグジュアリーに表現した容器デザイン。

### High Prestige Brands

## ハリと美白を両立する 進化した「アンフィネス」

[ALBION | アンフィネス プランブプライト ライン]

コラーゲンの可能性を追求し続けてきた『ALBION』の「アンフィネス」。新登場の「アンフィネス プランブプライト ライン」では、従来の“ハリ”に加え“美白”へのアプローチも両立しました。

クレンジング、洗顔料、化粧水、乳液、美容液、クリームの基本

アイテムに、スペシャルケア用の集中美容液やシートマスクも揃えた充実のラインナップ。シワ改善・美白有効成分のナイアシンアミドを配合し<sup>※</sup>、澄んだ明るさとハリのある肌へと導きます。

※ すべての商品に配合されているわけではありません

キーカラーは春夏のスキンケアにぴったりのクリアライトブルー。



High Prestige Brands

## 『タルト』と『ダンキン』がコラボした 限定リップを発売

[tarte | tarte™ x Dunkin® Guava Girl Summer Collection]

『タルト』と大人気ドーナツブランド『ダンキン』がタッグを組み、『ダンキン』の夏の人気ドリンク「グアバガール・サマー」に着想を得た、限定版リップ・コレクション

を発売しました。『タルト』の人気商品「maracuja juicy lip」シリーズをベースに、爽やかでジュシーな雰囲気あふれる3種のリップがラインナップ。



各商品には限定キャップやミニキーチェーンチャームが付属。



商品製造過程で発生する「ハトムギのみみ殻」を容器に使用し、環境に配慮。

Prestige Brands

## 健やかな心・肌・体をサポートする ホリスティックビューティーを提案

[雪肌精 | 雪肌精 BLUE]

「雪肌精 BLUE」は、『雪肌精』の原点である「東洋発想」をもとに、肌・心・体のバランスを考えたホリスティックケアシリーズです。和漢植物由来成分を贅沢

に配合した商品ラインナップ、精油の香りによるメディテーション、そして独自のカウンセリングを通じ、しなやかに美しくめぐる毎日をサポートします。

Cosmetaries Brands

## 大人気『メイク キープ』に 新アイテムが仲間入り

[メイク キープ | パウダー EX、オイルブロック 紙パウダー]

化粧崩れを防ぐ『メイク キープ』シリーズから、機能性と使用感を向上させた「パウダー EX」と、一枚でテカリや皮脂のべたつきを抑える「オイルブロック 紙

パウダー」が登場。いずれも大人気商品「メイク キープ ミスト EX」の技術を応用しており、用途に合わせたラインナップで多様なニーズに応えます。



Z世代に話題再熱中の紙おしろいタイプ(右)も登場。

## 株主優待制度について

毎年12月31日時点で100株以上を保有する株主の皆さまへ、自社製品を次の基準で贈呈しています。

また、継続して3年以上保有いただいている株主さまに、長期保有制度も採用しております。

保有株式数	優待内容	
	継続保有3年未満	継続保有3年以上(長期保有)
100株以上	100株コース 優待品A～Eの内いずれか	100株長期保有コース 優待品A～Iの内いずれか
1,000株以上	1,000株コース 優待品J～Nの内いずれか	1,000株長期保有コース 優待品J～Rの内いずれか

全優待品のご紹介は [こちら](#) をご覧ください

2025年  
最もお申込み  
いただきました

### 2025年5月にお届けした人気の優待品

 <p><b>B</b></p>	 <p><b>F</b></p>	 <p><b>M</b></p>	 <p><b>R</b></p>
<p><b>ONE BY KOSÉ メラノショット W</b> ・メラノショット W [医薬部外品] 40mL</p>	<p><b>雪肌精 セット</b> ・薬用雪肌精 ブライトニング エッセンス ローション [医薬部外品] 200mL ・薬用雪肌精 ブライトニング エマルジョン [医薬部外品] 140mL</p>	<p><b>コスメデコルテ リポソーム アドバンスト リベアセラム 2</b> ・リポソーム アドバンスト リベアセラム 75mL</p>	<p><b>コスメデコルテ AQ セット2</b> ・AQ アプソリュート エマルジョン マイクロラディアンス II 200mL ・AQ アプソリュート ローション ハイドロインフューズ II 200mL</p>

2025年12月末の株主優待のお申し込み対象となる株主さまには、**2026年2月中旬以降**に発送予定のご案内状にてお知らせいたします。



権利確定日  
12月31日



案内発送  
2月中旬以降



申込期限  
3月中～下旬



優待品発送  
5月頃

# 会社情報

2025年6月30日現在

## 株式の状況

会社が発行可能な株式の総数：200,000,000株 発行済株式の総数：60,592,541株 株主数：33,630名

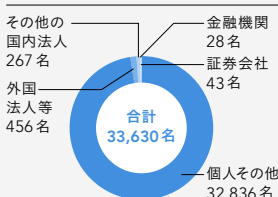
### 大株主

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
日本マスタートラスト 信託銀行株式会社(信託口)	5,764	9.5
一般社団法人コーセーマネジメント	5,680	9.4
一般社団法人ウッド	5,595	9.2
一般社団法人MYMラボラトリーズ	5,491	9.1
小林 和夫	1,926	3.2
JP MORGAN CHASE BANK 385632	1,634	2.7
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	1,419	2.3
公益財団法人 コーセーコスメトロジー研究財団	1,279	2.1
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505103	1,136	1.9
みずほ信託銀行株式会社 退職給付信託 みずほ銀行口 再信託受託者 株式会社日本カストディ銀行	841	1.4

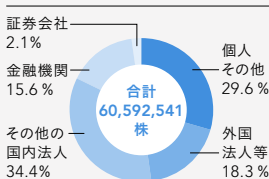
注1) 持株数の表示は千株未満を切り捨て表示。%の表示は小数第2位を四捨五入し、小数第1位まで表示。

注2) 上記のほか当社は自己株式3,518千株(持株比率5.8%)を所有しています。

### 株主数分布



### 株式数分布



①) 株主数、株式数とも

①自己株式1名3,518,181株は、個人その他に含めています。

②証券保管振替機構失念株管理口分の1名3,810株は、その他の国内法人に含めています。

## 株主メモ

事業年度	毎年1月1日から12月31日まで
定時株主総会	3月下旬開催
単元株式数	100株
配当金受領株主確定日	12月31日(期末配当金)及び6月30日(中間配当金)
基準日	定時株主総会については12月31日とします。 その他必要があるときは、あらかじめ公告いたします。
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
特別口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 (フリーダイヤル)TEL.0120-232-711 土・日・祝日を除く9:00～17:00 【郵送先】〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
公告方法	電子公告 ( <a href="https://corp.kose.co.jp/ja/ir/notice/">https://corp.kose.co.jp/ja/ir/notice/</a> ) (ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。)
証券コード	4922

## 会社概要

商号	株式会社コーセー
本店所在地	東京都中央区日本橋三丁目6番2号
創業	1946年3月
設立	1948年6月
資本金	4,848百万円
従業員数(連結)	8,130名 ※2024年12月末時点 (上記従業員数には、嘱託・パートは含まれておりません。)
事業内容	化粧品品の製造・販売

## 役員

代表取締役社長	小林 一俊	取締役(社外)	菊間 千乃
専務取締役	小林 孝雄	取締役(社外)	湯浅 紀佳
常務取締役	小林 正典	取締役(社外)	須藤 実和
常務取締役	溢澤 宏一	取締役(社外)	小林 久美
取締役	小林 勇介	常勤監査役	小名木 稔
取締役	小椋 敦子	常勤監査役	望月 慎一
取締役	原谷 美典	監査役(社外)	深山 徹
取締役	田中 慎二	監査役(社外)	高木 暢子

## 株式に関する諸手続き

### ■未払配当金のお支払

三菱UFJ信託銀行の本支店にお問合せください。

### ■住所変更、単元未満株式の買増・買取請求、口座振替、配当金受取方法の指定等

[証券会社に口座をお持ちの株主様]

▶お取引の証券会社にお問い合わせください。

[特別口座の株主様(証券会社に口座をお持ちでない株主様)]

▶三菱UFJ信託銀行株式会社にお問い合わせください。

当社Webサイトにて、IR情報を発信しております

IR情報

コーセーレポート(統合報告書)